

# 国際教育の推進について

## 1 第1回総合教育会議で協議されたこと

### 【本市の国際教育が目指す姿】

本市の子どもたちが、しずおかに愛着と誇りを持ちながら、国内外でグローバルに活躍したいという希望を叶えるとともに、本市からグローバル人材が育つ教育環境を2030年までにつくりあげる

### 【主なご意見】

- 学校における日常の英語コミュニケーションの機会をさらに充実させたい
- 国際教育推進の全体像を明らかにして、小学校段階から計画的に英語力を育成したい
- 小中ではしずおかの文化を学びながら基礎を作り、高校では広い視野を持って将来の夢を持たせたい
- 目的を持って留学したい子に対する資金援助を検討してほしい

## 2 ニーズ調査や視察から得られた意見や考え

**市立高校 生徒・保護者**

- 留学に必要な語学力が不足しているな・・・
- 海外生活に不安を感じる、留学の情報が知りたい・・・
- 留学の費用がかかる・・・
- 自己表現力(伝える力)をもっと伸ばしていきたい

**先生**

- 小中一貫教育のスタートに当たり、小中学校の継続性のある学びのため、小学校と中学校の英語の教科担任の連携を深めたい
- グローバル人材の育成のためには、小学校の早期の成長段階から国際教育が必要
- AL T, GET と連携した授業の効果が高い

**市内企業**

- グローバル人材の育成において、海外大学への留学は有益

## 3 本市の国際教育で育成すべき子どもの姿

**I 慣れる・関心をもつ・基礎を培う**

早期の成長段階から英語でのコミュニケーションに慣れ、楽しむことができる

(子どもの姿の例)  
小6：自分のことについて、内容を理解した上で、簡単な単語や基本的な表現を用いて話したり聞いたりすることができる。

**II 身に付ける**

世界に触れる体験を通して視野を広げ、身に付けた英語で積極的に交流ができる

(子どもの姿の例)  
中3：日常な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、単語や文を用いてまとまりのある内容を伝え合うことができる。

**III 役立てる**

自分の成長や夢の実現のため、海外留学等の選択肢を広げ、積極的に世界にアプローチできる

(子どもの姿の例)  
高3：社会的な話題について、自分の意見を英語で適切に表現し、意見を交わすことができる。また、留学し海外で生活する子もいる。

しずおかに愛着と誇りを持ちながら、異なる文化の人々と自信をもってコミュニケーションをとり、国内外でグローバルに活躍できる人材

## 4 目指す国際教育の全体像

発達段階	小学校						中学校			高等学校		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3
課程	I 慣れる						II 身に付ける			III 役立てる		
授業	外国語活動			外国語			外国語			外国語		
施策	教科担任 (R4-)						教科担任指導					
	AL T の配置						GET (地域人材) の配置			イングリッシュカフェ (放課後等にAL T と英会話を楽しむ時間)		
	しずおかグローバルタイム (独自教材を使った身近で楽しむ英語学習)						海外研修・修学旅行			国際交流授業		
	イングリッシュデイ (月1回英語によるコミュニケーションを楽しむ日)						海外大学留学・進学			サマーキャンプ サマースクール		
	イングリッシュキャンプ (夏休みに1日中英語を楽しむプログラム)											

## 5 目指す国際教育の実現に向けた方策

	施策	R 4 の具体的取組
小学校 中学校	日常の英語コミュニケーションの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GET の配置時間数の拡充 年24回→年35回</li> <li>・ イングリッシュデイの拡充 月1回程度→月2回程度</li> <li>・ イングリッシュカフェの拡充 月1回程度→月2回程度</li> <li>・ 小学校高学年への専科教員の配置 残り19校</li> </ul>
高等学校	国際交流の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外の学生との交流、海外を肌で感じる機会の充実</li> <li>・ サマーキャンプの実施、オンライン環境の整備</li> </ul>
共通	海外留学希望者への積極的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 希望者への情報提供・キャリア支援 教員の情報収集</li> <li>・ 希望者への英語力向上支援 サマースクールの試行</li> <li>・ 継続的な海外留学支援策の検討</li> <li>国際教育プログラム導入・負担軽減策の検討</li> </ul>
共通		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内大学・私立学校との連携 共同授業の試行</li> <li>・ 児童生徒及び各学校の意識醸成</li> <li>国際交流員によるキャリア教育・多文化理解講座の推進など</li> <li>・ 目指す子どもの姿の段階に応じた達成目標の検討</li> </ul>